

病害虫

(1)ゴマダラカミキリによる食害



成虫



成虫による樹皮の食害

対策

- ・成虫の捕殺が効果的
- ・有機リン系の殺虫剤の塗布など



幼虫による材部の食害

(2)センダンこぶ病

細菌（バクテリア）が起こす病気で、こぶの組織からあふれ出した細菌が、おもに風雨を媒介として伝播する傷痕寄生菌である。（*Pseudomonas meliae* Ogimi 1977）

本細菌は芽かき痕、強風による枝折れ箇所、ゴマダラカミキリの食痕などから侵入すると考えられている。



センダンこぶ病罹病木



木理の走行が乱れ、材質が低下

対策

- ・他の樹種との混植による発生抑制
- ・感染しにくい立地への植栽→罹病木が近くにないこと
- ・芽かき、枝打ち後（枝折れ含む）、ゴマダラカミキリの食痕に殺菌効果がある癒合剤を塗布する
- ・こぶ病罹病木が発生したら早急に取り除く



他樹種との混植による発生抑制例
（写真は天草郡苓北町のセンダン－スギ混交林）